



◎まなびの広場 令和8年8月10日発行  
偶数月10日発行  
令和4年6月10日創刊 通算No.26

8

# まなびの広場

— 子どもの未来を共に考える —

VOL.26

2026

## 編集よりご案内

本号で最終回を迎える定行まり子氏の連載では、幼児期の遊びと健康の最大の舞台である「屋外環境（園庭）」に焦点を当て、園庭の広さにかかわらず、日本の保育現場でも応用できる「園庭の質」と「環境設計」のあり方についてご執筆いただいています。

また、ECEQ®の良さや魅力をご理解いただいた自治体においてはじまった、施設の種別を越えたECEQ®を活用した事業を取り上げながら、ECEQ®の今後の広がりや可能性を紹介します。

さらに、研修のお申し込みや研修履歴の管理にご利用いただいている「ゆたかなまナビ」の教職員MYページを全面リニューアルいたしますのでお知らせします。

## CONTENTS

### 短期連載③

幼児教育を支える空間・環境—スウェーデンの建築・都市計画から—

■ 定行 まり子氏（日本女子大学 名誉教授）

（一財）全日私幼研究機構理事長からのご報告

子どもは信ずるに値する存在です

■ 安家 周一（一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長）

委員長・チーム長就任にあたっての抱負

保育所でのECEQ®導入から、今後のECEQ®の広がりを考える～葛飾区を例に～

■ 永田 陽子氏（稚竹幼稚園 園長）

ECEQ® Hot News Vol.9

「ようちえん絵本大賞」を続けてきて

■ 波岡 伸郎（一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 広報委員）

機構からのお知らせ

ゆたかなまナビ教職員MYページを9月9日に全面リニューアルいたします

■ 野波 雅紀（一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 システムチーム長）



## 就学前学校の屋外環境がもたらす教育的価値——スウェーデン・ウプサラ市に学ぶ「遊び・発達・健康」を最大化する園庭計画

日本女子大学 名誉教授／定行 まり子

### 1. はじめに——「第三の教育者」としての屋外環境

幼児期の教育は「環境を通して行う」ことを基本としています。イタリアのレッジョ・エミリア・アプローチにおいて空間・環境が「第三の教育者」と定義されるように、子どもを取り巻く物的環境は、日々の発達や学習を促す動的な教育的基盤です。

第1回では、コロナ禍において休園せず、屋外環境を最大限に活かして子どもの日常を守ったスウェーデンのレジリエンスを概観しました。続く第2回では、室内における「住まいとしての機能」に着目し、三室構成と換気能力（外気流量）に基づく科学的な定員管理システムについて解説しました。

最終回となる本稿では、幼児期の遊びと健康の最大の舞台である「屋外環境（園庭）」に焦点を当てます。スウェーデン第4の都市ウプサラ市（Uppsala kommun）は、人口急増に伴う市街地の高密度化により、子どもの屋外遊び場（フリースペース：Fritid）が縮小するという構造的課題に直面しています。これに対し、2020年の国連「子どもの権利条約（CRC）」の国内法化を契機に、同市は「子どもの最善の利益」を最優先にする全庁的な「屋外環境ガイドライン」を策定しました。

この基準は、単なる行政の数値目標にとどまりません。子どもの発達心理学や公衆衛生学の精緻なエビデンスに基づいて設計されています。本稿では、日本の保育現場でも応用できる「園庭の質」と「環境設計」のあり方を紐解きます。

### 2. 面積と質が規定する子どもの遊び——科学的エビデンスから

ウプサラ市のガイドラインは、子ども1人あたりの面積だけでなく、フェンスのない一体的な形状としての「まとまりのある最小連続面積」を重視している点が特徴です。都心部（ゾーン1）では1人あたり20㎡（連続面積2,000㎡）、郊外（ゾーン3）では1人あたり40㎡（連続面積3,000㎡）を推奨しています。これらの数値は、スウェーデン農業科学大学（SLU）やカロリンスカ研究所を中心とする広範な科学研究に裏付けられています。

Boverket（国土住宅建設庁）の指針にも採用されている「3,000㎡」という面積の閾値（しきいち）は、Mårtenssonら（2009年）の統計的研究に基づいています。起伏に富み、樹木や低木が豊かに配置された3,000㎡以上の統合的な屋外空間で遊ぶ子どもは、狭小な園庭で遊ぶ子どもに比べ、不注意・多動・衝動的行動を示す頻度が有意に低い（ $p<0.05$ ）ことが実証されています。狭小な園庭では、子どもたちのグループが自律的な遊びや、複雑な社会的相互作用（ごっこ遊びや共同制作など）を発達させることが物理的に困難になり、結果として衝突やトラブルが増加しやすくなると指摘されています。

子ども1人あたりの面積は、園庭の「地面の素材」や「植生の維持」を左右し、遊びの質を段階的に決定づけます。

・10㎡以下（狭小な園庭）：踏圧（子どもの足による踏み固め）が集中するため、自然の植生は生存できません。人工芝やゴムアスファルトなどの硬質・合成舗装が主体となり、遊びは基本的な移動（走る、三輪車を漕ぐなど）に限定されます。

・20㎡：一部にフェンスで囲まれた保護緑地を配置することは可能ですが、園庭全体の緑を維持することは困難です。地表の摩耗が激しく、頻繁な補修コストが発生します。

・30㎡（生物物理的な閾値）：芝生や自然の植物が、踏圧に耐えながら自生し続けられる境界線です。これにより、「遊び」「ごっこ遊び」「屋外教育」「自然素材の活用」「静寂・回復」という5つの環境的機能が安定して発揮されます。

・40㎡（推奨スタンダード）：広大で連続的な自然環境を保全できます。樹木が豊かに育つことで、日射遮蔽や風のコントロール、アレルギー物質の飛散抑制など、完全な「生態系サービス（健康防護機能）」が稼働します。

### 3. 保育者が今日から活かせる「園庭の質」と「環境運用」

ウプサラ市の実践において、日本の幼稚園・保育園に最も示唆を与えるのは、面積の確保が難しい都心部であっても「デザインと運用の質」によって子どもの発達を最大化しようとするアプローチです。

固定遊具の限定と「ルースパーツ」の活用：園庭にありがちなブランコや滑り台などの「既製の固定遊具」は、遊びのルールが最初から決まっているため、子どもの自発的な探究心が長続きしにくい傾向があります。そこでウプサラ市では固定遊具を最小限に抑え、代わりに「ルースパーツ（Loose Parts：子どもが自分で動かして形を変えられる素材）」を活用しています。小枝、木の葉、どんぐり、ベリー、木の実、砂利、砂、丸太といった自然素材を豊富に用意するのです。これらは、ある時は「ごちそう」になり、ある時は「お城の壁」になるなど、子どもの想像力によって無限に変化します。豊かな自然素材に囲まれた園庭では、子どもが性別や年齢に関係なく一緒に遊びを発展させ、高い集中力を維持することが、Grahnら（1997年）の初期研究をはじめとする統計でも証明されています。

高低差（トポグラフィー）の効果：ウプサラ市のRosendals就学前学校などでは、平坦な園庭ではなく、緩やかな丘や谷、岩場などの「トポグラフィー（高低差）」を設計に取り入れています。起伏を歩き、走り、よじ登る行為そのものが、子どもの体幹やバランス感覚（転倒リスクを自分で判断する力）を自然に育みます。同時に、起伏や植生は、大人の視線から少し離れて静かに心を落ち着かせる「回復・プライバシーのゾーン（静寂の場所）」を園庭の中に生み出すという心理的な効能も持ち合わせています。

UV防護と身体活動の「二重の利益」：緑豊かで大きな木陰がある園庭は、子どもの運動量を増やす（平均歩数が有意に増加する）と同時に、有害な紫外線（UV）の被曝量を抑えるという「二重の利益」をもたらすことが定量的に実証

されています (Boldemannら、2006年)。面積が小さく人工舗装が主体となる園庭では、照り返しによる熱ストレスで子どもの活動量が低下する一方、遮るもののない紫外線への過度な被曝リスクが高まります。園に「大きな木」を1本植え、その木陰に砂場や創造的遊びのスペースを配置するだけでも、子どもの体温調節機能を守りながら質の高い活動を保障する環境をつくることが可能です。(写真1)



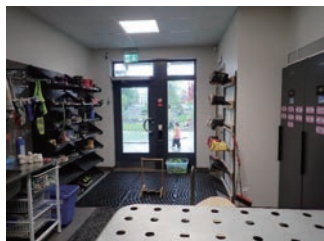
(写真1): 外部から就学前学校の施設と園庭の様子を眺める

#### 4. 子どもをアレルギーや大気汚染から守る建築・都市計画

近年の公衆衛生研究において、園庭は大気質 (PM2.5、黄砂、交通由来の窒素酸化物  $NO_x$  など) から子どもを保護する「バッファ (緩衝帯)」として動的に機能することが分かっています。ここでは、日本の都市部でも実用性の高い、建築とランドスケープを統合した設計原則を提示します。

**泥落とし専用玄関「Groventré (グローヴ・エントリ)」の設置**：スウェーデンの就学前学校では、園庭から直接アクセスできる「グローヴ・エントリ」と呼ばれる土間玄関が配置されています。(写真2)

外遊びから戻った子どもたちは、泥だらけの服や靴をこの専用クロークで脱ぎ、その場で手洗いや着替えを済ませます。外気や砂埃に含まれるアレルギー、黄砂、PM2.5、ディーゼル排ガスなどの汚染物質を、子どもたちが主として過ごす保育室へ持ち込ませないための、衛生面に配慮した機能的な動線計画です。



(写真2): 1階エントランスは、子どもの着替えの場

**「多層的な植栽バッファ」による排ガスの遮断**：子どもは大人に比べて呼吸量が多く、また目線 (呼吸位置) が低いため、地表付近に滞留しやすい道路からの排気ガスを直接吸入しやすく、生理的に脆弱です。そのため、主要道路や駐車場と園庭の境界には、高木・中木・低木 (生垣)、地被植物 (芝生やマルチングによる土埃の飛散抑制) を組み合わせた「多層的植栽バッファ」を配置します。(写真3) 粒子状物質の捕集効率が高い常緑・落葉のミックス樹種を選定することで、排気ガスを物理



(写真3): マルチングによる土埃の飛散抑制

的に拡散・希釈し、園庭内の実効汚染濃度を低減させます。

**屋外睡眠 (お昼寝) への建築的対応** (写真4)：スウェーデンを含む北欧特有の文化として、1～3歳児の「屋外での昼寝」があります。これは免疫力の強化と質の高い睡眠確保を目的としており、たとえば氷点下15℃～20℃であっても、防寒装備を徹底した上で子どもを屋外で寝かせます。そのため建築計画においても、屋根付きのテラスやスリーピング小屋を、保育者の目が届く位置にあらかじめ組み込んでいます。



(写真4): 屋根付きテラスでの午睡

#### 5. 日本の幼児教育現場への示唆——環境を「動的」に運用する保育者へ

日本の幼児の活動に目を向けると、コロナ禍を経て外遊びの頻度が減少し、子どもの心身の健康危機や体力低下が叫ばれています。この背景には、日本の保育環境が「床面積」という平面的かつ静的な最低基準に依存し、屋外環境の「質」を制度的に軽視してきた歴史があるのではないのでしょうか。

スウェーデンの「*Friskare luft ger friskare barn* (より新鮮な空気は、より健康な子どもを育む)」という公衆衛生・教育思想は、単なる自然豊かな環境への憧憬ではありません。都市の密集化という開発状況のなかにあっても、子どもの発達を最優先にするという社会的合意が形づくってきた成果です。



隣接する森の中で遊ぶ子どもたち、森の利用のルールも学ぶ。

単なる「床面積」の静的な基準から脱却し、空気質や熱環境に応じて活動場所をコントロールする——そんな「環境を動的に運用するスキル」が、これからの日本の保育者にも強く求められていると考えます。

#### 参考・引用文献

- ・ウサハラ市 (2020年) 『就学前学校・基礎学校の屋外環境の面積と質に関する指針 (Riktlinje)』
- ・Boverket (国土住宅建設庁) (2026年) 「幼稚園および学校の物理的環境」  
<https://www.boverket.se/sv/om-boverket/publikationer/2026/forskolors-och-skolors-fysiska-miljo/> (2026年7月13日取得)
- ・Mårtensson et al. (2009年) <https://doi.org/10.1016/j.healthplace.2009.07.002>
- ・Boldemann et al. (2006年) <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/16448688/>



幼稚園・教育業界支援の経験と知識を、未来へ

**YUBISUI GROUP**

[www.yubisui.co.jp](http://www.yubisui.co.jp)



幼稚園・教育業界特有の事務負担を軽減し、「時間」と「笑顔」を生み出します

YUBISUI GROUP

税理士法人ゆびすい  
行政書士法人ゆびすい

社会保険労務士法人ゆびすい労務センター  
株式会社ゆびすいコンサルティング

司法書士法人ゆびすい登記センター  
株式会社ゆびすい会計システム

# 子どもは信ずるに値する存在です

一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 安家 周一



今年も4月に新しい園児や保護者たちが入園してきました。卒園式を終えた長時間保育の子どもたちは、3月31日まで登園し、翌4月1日には放課後児童クラブで学校に登校します。場所は変わりますが、預けられる時間にそう変化はありません。その約一週間後には、まささらな入学式に保護者も一緒にお祝いを受けますが、子どもにとってみればすでに何日も通っている学校ですから、新鮮味は今一つなのかもしれません。こどもまんなかというならば、現代における学校文化の再考や、子どもを持つ社会人のための就業の仕方などの改革が必要な時代なのかもしれません。

文明が進化し、私たちは「待つこと」が減ってきています。手紙を書いていて漢字が思い浮かばなければ辞書ではなくスマホ。待ち合わせの場所に遅れるときも、駅の伝言板に「チョークで事情を書き置く」のとは違って、スマホで相手に伝えることができます。とても便利で気楽で、待ち時間をイライラせず、させずに済んでいます。

便利で気楽で想像力を駆使しなくても何でも手に入る、それ自体は「お気楽」だと思うのですが、時間通りに現れない待ち人に首を長くして待ち、何があったんだろう、自分が時間を間違えているのでは…、事故？電車が遅れている？相手によっては、もしかしたら「ふられたのかも」と、あることないことをイメージしなければならない時代は過去のものになりました。

ウクライナや中東で起こっている戦争のさなかに、逃げ惑う人たちのこと、飢えやテントの冷たい地面で眠らなければならないガザの人たちのこと。テレビの映像で見る程度で、その人達の苦しみや悲しみをイメージする力が衰えてきたのではないのですか？ジョン・レノンは「イマジジン」を歌っています。

子どもを育てていて、少し忙しくなった時、ぐずぐずしている我が子についつい「早く！」と急かすことはあ

りませんか。親は仕事で、今日は休めないという時に限って「熱発!」。どうしようと途方に暮れたこともありました。今考えると、子どもは親が自分ではなく、仕事などに心を奪われていることを察し、わざとゆっくり行動したりすることで、「仕事よりも自分のことを愛してくれているのか?」を試しているのかもしれない。

驚田清一さん(2006)が育児といういとなみについて「とりあえず今はあきらめる、もう期待しない、じりじり心待ちにすることはしない、心の隅っこでまだ待っているらしいこともすっかり忘れる。ここでなおじたばたしたりしたら、事態はきっと余計に<sup>こじ</sup>掘れるから。ひょっとしたら『育児』というのはいさななみかもしれない。ひたすら待たずに待つこと、待っていることも忘れて待つこと、いつかわかってくれるということも願わず待つこと、いつか待たれていたと気づかれることも期待せずに待つこと…」としています。

近年の子育て事情は、子どもの育ちに願いをかけ、先手、先手で、できるだけ好条件な進路や学習に期待をする親の下で育つ子どもが増え、その重荷を陰に陽に感じ、押しつぶされそうになるのではないのか、と心配してしまいます。2025年小中高生の自死(殺)数は532人。2人に1人は死にたい、と新聞記事の数字です。デジタルに追いまくられる大人の下で育つ子どもたちのことを思うと、息苦しくなります。信じて待つことはとても根気のいることです。必ずその子らしく育ってくれることを願い「子どもは信ずるに値する存在です」と信じる親であることによって、伸びやかに自己発揮できる人になると私は信じています。

## 引用文献

「待つ」ということ 驚田清一著 角川選書 2006

## 園の未来をインクルーシブにデザインする

～国内で児童発達支援事業を始める新しいパートナーシップ～



空き教室の有効活用! 療育プログラムと万全の運営支援!

児童発達支援ハッピーテラスキッズ 運営本部: デコボコベース株式会社  
TEL: 03-6809-6940 担当/甲斐

DECO  
BOCO BASE

詳細はこちら



# 委員長・チーム長就任にあたっての抱負

## ● 高尾恵子広報委員長より

少子化の影響が、日本全国のどの市町村でも色濃く出ている昨今です。どうすれば、この現象が留まるか。いろいろな方策が考えられていますが、身近に子育てをしておられる保護者の方たちを見ている私たちは、子育ての楽しさを訴えることが、一番の近道のように思えてなりません。

唯一、家庭に私たちの声を届けることができる「こどもがまんなかしんぶん」。この新聞の紙面づくりを益々充実させ、子育ての楽しさ、大切さを直接、家庭に訴えることが、微力ながら広報委員会として、少子化対策の一片を担うことにつながっていくと思っています。加えて社会に対しても、機構の持つ重要な役目をアピールするためのホームページは、これからますます大切な位置づけになります。広報委員会として、全員が世間に対してアンテナを張り、柔軟な感性を持ち続けながら、与えられた役割をこなしていくつもりです。

## ● 岡本潤子教育研究委員長・研修チーム長より

異常気象、種々の災害、これまでは人間社会とは棲みかを別にしていた熊の出現など、子どもたちを取り巻く環境は不安で包まれ、その視点を世界へ向けたとしても平和が脅かされる光景が広がる時代。

このような時代の中で豊かな教育活動を行い、子どもをよく育てることが私たちに与えられた使命です。そこに必要な確かな教育力を、教育研究委員会全体で磨き、高め、日本のすべての子どもたち、そして家庭へ届けることができるように、皆様と共に励んでまいります。質の高い乳幼児期の教育の実践こそが、混とんとした社会を変革できるという希望と誇りを社会全体へ伝え、研修は楽しい！研修は豊かだ！と夢を描く教育研究委員会でありたい、そう願う令和8年度スタートです。

## ● 藪淳一ECEQ<sup>®</sup>・評価チーム長より

昨年度末で、ECEQ<sup>®</sup>の実施園数はのべ466園、ECEQ<sup>®</sup>コーディネーター認定者数は514名に達しました。ECEQ<sup>®</sup>の良さが確実に広がっていることを実感します。

国の方針もようやく「保育の量の拡大」から「保育の質の確保・向上」に転換され、評価にも光が当たりつつあります。そのような状況の中、機構では、今年度よりECEQ<sup>®</sup>を学校評価における第三者評価と位置付けることにしました。今年度は、全国で87園がECEQ<sup>®</sup>を実施する予定ですが、そのうち73園が第三者評価を希望しており、関心の高さもうかがえます。チームとしては、ECEQ<sup>®</sup>を第三者評価と位置付けることの周知を進めるとともに、ECEQ<sup>®</sup>コーディネーターのフォローアップ研修を充実させるなどしてECEQ<sup>®</sup>そのものの質の担保にも取り組んでいきます。また、各都道府県団体様の事務負担軽減のために、ECEQ<sup>®</sup>の事務手続きのシステム化も、システムチームの先生方とともに検討していく予定です。全国47都道府県の先生方のご理解、ご協力、よろしくお願いいたします。

## ● 川原恒太郎オンデマンド研修チーム長より

「ゆたかなまナビ」を用いた当機構主催オンデマンド研修は、全国いつでもどこでも場所や時間を問わず、自分のキャリアステージや課題に応じて研修の内容を選び、主体的・計画的に学ぶことができます。子どもにかかわる全ての教職員は、各自の資質能力を向上させることが求められており、オンデマンド研修の果たす役割が大きいと考えます。研修内容としては「保育者としての資質向上研修俯瞰図」に沿った対面・オンライン・オンデマンド研修を収録した良質なコンテンツを全国から募集し、幼児教育にかかわる今日的課題、保育者の資質向上に資する良質なコンテンツ、学ばなければいけないと考えるコンテンツ内容も作成・収集し配信しています。

オンデマンドチームでは、全ての教職員がオンデマンド研修の良質なコンテンツで学びを深められるよう「学びのプラットフォーム」を目指したいと考えています。

## ● 野波雅紀システムチーム長より

日頃より、ゆたかなまナビシステムのご利用に、格別のご理解とご協力を賜りありがとうございます。引き続き、教育研究委員会システムチームのとりまとめを拝命いたしました。

これからのゆたかなまナビは、保育者が学び続け、実践を振り返り、学び合えるプラットフォームとしての役割のみならず、全国の保育者、研究者、行政、関係団体とつながり、幼児教育の質の向上を支えるインフラとしての役割にまで発展させることこそ大切な課題であると思います。

現状は一步ずつではありますが、これからも全国の先生方が安心して活用できる環境づくりを進めながら、システムの普及とともに、将来的課題に向き合い取り組みたいと考えております。甚だ微力ではございますが、この重責を真摯に受け止め、力を尽くしてまいりますので、皆様からのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ECEQ®の誕生時からECEQ®の普及、ECEQ®コーディネーター養成に長年携わられた稚竹幼稚園の永田陽子氏に、自治体の取り組みの一環として実施された保育所でのECEQ®実施例を取り上げながら、ECEQ®の今後の発展への期待をご執筆いただきました。

## ECEQ®の広がりに期待!

学校法人蒲公英学園 稚竹幼稚園 園長／永田 陽子

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発したECEQ®は誕生して13年が経ちます。私は立ち上げとともに東京の委員として関わってきました。現在のECEQ®・評価チームは、全国各地から1名ずつ選ばれた11名の先生方で構成され、ECEQ®普及にむけてそれぞれの地区の様々な問題の対応やECEQ®コーディネーターの育成に努めています。令和7年度までに、ECEQ®の実施園は466園、コーディネーターは514名を認定しています。また令和8年度より、ECEQ®を学校評価における第三者評価と位置付けることになりました。この仕組みにおいては、STEP4の公開保育の参加者を評価者とし、ECEQ®の「問い」は、実施園の保育者自らが設定した評価項目としています。国の方針として、「保育の質の確保」への転換が示されるようになり、「第三者評価等による質の評価・改善の推進」も挙げられる中、自園の保育を考える上で外部からの視点も大切になってきますので、公開保育を活用するECEQ®の取り組みはとても意味があることです。

令和6年、葛飾区ではその取り組みに関心を示し、その年に行われた公開保育に区の方々が大勢参加し、ECEQ®が保育所においても保育の質の向上に寄与する

取り組みであることにご理解をいただきました。そして、令和7年度には、ECEQ®を活用した「公開保育を通じた学び合い等支援事業」が立ち上がり、葛飾区のうらら保育園で公開保育を行うことができました。この度、事業の実施に寄せて葛飾区よりコメントをいただきました。

葛飾区では、「子育てするなら葛飾で」を柱に掲げ、子育て支援とともに就学前教育の質の向上に重点的に取り組んでおります。就学前教育は、子どもたちの生涯にわたる学びや生活の基盤を育むものであり、地域社会の未来を支える大変重要な取組です。

このような考えのもと、本区ではこれまでも、私立幼稚園・認定こども園による特色ある幼児教育の取組を独自の助成により支援するとともに、優れた実践を区内の子育て施設に共有し、展開を図ってまいりました。

さらに令和7年度からは、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構のご支援を賜り、ECEQ®を活用しながら、保育者同士が対話を通じて学び合う取組として、「葛飾区公開保育を通じた学び合い等支援事業」を開始いたしました。公開保育を通じて建設的な意見交換の機会の充実を図り、教育・保育の質の向上につなげております。

ECEQ®は、一方的な評価や指導ではなく、保育者同士が互いの実践を尊重しながら対話を重ね、日々の保育を振り返ることができる点に大きな魅力があるものと感じております。初年度の取組では、私立幼稚園のみならず、私立保育所においてもECEQ®を実施し、公開保育には園種を越えた多くの保育者が参加いたしました。実施園及び参加者からは、視野が広がり新たな気づきが得られたとの声が寄せられており、こうした取組が、保育者同士が互いに学び高め合う風土の醸成にもつながっていると実感しております。

今後も本事業をはじめとする取組を着実に推進し、葛飾区における就学前教育のさらなる充実と発展に努めてまいります。

葛飾区長 青木 克徳



STEP4（公開保育）の際の園児の様子

葛飾区の園種を超えた公開保育の取り組みは、保育とは何かを園として問い続けていくための学びの仕組みであり、保育者同士が互いに質を高め合うことになっていきますので大変ありがたい試みです。

コーディネーターとしては、話し合いの場面で意見を言いたくなったり、こうしたらよいのではないかと方向性を示したくなったりすることもあります。参加者、実施園の先生方など全員で問いを考え続けることが学びの質を深めていくと感じています。是非この成果をいろいろな場面で公表してってほしいと思います。

このようにECEQ®の取り組みが私立幼稚園だけでなく国公立の幼稚園、保育園、認定こども園などにも広がり、保育の質の向上にますます生かされていくことを願っています。



STEP2（事前研修）で自園の良さと、自園や自身の悩みなどについて語り合う

# **Hot News** Vol.9



## ご質問大募集!!

ECEQ®に関する質問を下記URL、QRコードより受付します。次号以降、本コーナーにて順次回答をしていきますので、ECEQ®について疑問に思っていることをぜひお寄せください。

質問を多数お寄せいただいた場合には紙面でのお取り扱いができませんので予めご了承ください。その場合は、個別に回答いたします。なお、質問者様のお名前など個人に関する情報は紙面には掲載いたしません。

受付期間：令和8年9月30日（水）まで



ご質問受付フォームはこちら

URL: <https://forms.gle/XLH5LdUER3617gEB6>



## 令和7年度第三者評価受審加算取得実績について

令和7年度にECEQ®を実施した、私学助成園を除く全47園のうち、全国9市町村の15園が第三者評価受審加算を取得することができています。

令和8年度より本格的にECEQ®を学校評価における第三者評価として扱うため、「学校評価における第三者評価取扱要項」を新設するなど体制を整えてまいりましたが、今後も加算取得実績の更なる広がりに向けて努めてまいります。



## これで安心！ECEQ®実施園マニュアルについて

ECEQ®を学校評価における第三者評価として実施する場合に、実施園が行うこと等を説明したページを追加しました。今年度の実施園や今後実施を検討している園の皆様はぜひご覧ください。

ECEQ®ホームページはこちら

URL: <https://youchien.com/eceq/>



私たちは幼児教育用品を通じ、幼児教育の質の向上に貢献します。

**Gakken**

ひかりのくに

フレーベル館

世界文化

**JAKUETS**

**Child**  
チャイルド本社

## 絵本がもたらす素敵な時間

一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 広報委員／波岡 伸郎

（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構広報委員会では、17年間に渡り「ようちえん絵本大賞」を実施し、200冊以上の絵本を保護者や幼稚園の先生方に紹介してきました。最近では絵本の帯に「第〇〇回ようちえん絵本大賞」受賞と入れていただけるようになり、さらに作者のプロフィールにも「第〇〇回ようちえん絵本大賞」受賞と入るようになりました。少しずつではありますが、広く読者に認めていただけるようになったのかなと広報委員会一同嬉しく思っております。第1回、第2回は幼稚園や保護者の人気投票という形で実施しましたが、第3回からはおよそ8年以内に出版された作品で、さらに人気作家の作品や書店に平積みされている作品以外にも目を向けて、幼児教育に携わる者の視点から発掘し、委員が持ち寄った作品から選考を行い、投票により上位約15冊を発表してきました。

さて、10年ほど前に故松居直先生（児童文学者、元福音館書店社長）に直接お話を伺う機会がありました。いろいろな話をしていただきましたが「絵本は何かを得るための物ではありません。絵本のファンタジーの世界にしっかりと入り込むことが一番大切です。そのことが子どもたちの心を育てます」と言っておられました。またある大学の先生が「絵本は大好きなお母さん、お父さん、幼稚園の先生に読んでもらうのが基本です。その時間が読み手の愛情を受け取る時間だからです。このことが子どもの成長にとっても重要です」と言われました。幼稚園で子どもたちが、毎日毎日同じ絵本を持って「先生、読んで」と言います。なぜ毎日毎日同じ絵本を持ってくるのかとても不思議でした。その答えが、この絵本を大好きな先生に読んでもらえば、先生からの愛情を感じながら、ファンタジーの世界に連れて行ってくれることがわかっているからだとして理解しました。大人としては、色々

な絵本に興味を持ってもらいたいところではありますが、子どもたちが自分で違う絵本を持ってくるまで読み続けられればいいのではないのでしょうか。そのうち必ず違った絵本を持ってきます。私はもともと絵本に興味があったわけではありません。幼稚園やわが子に時々読み聞かせる程度の関わりでしたが、「ようちえん絵本大賞」に関わる中で、絵本の世界にはまり込んでいきました。今ではお気に入りの作家の新作が出るのを心待ちにしています。最後に、私のお気に入りを入りを4冊紹介します。

◆「100万回生きたねこ」作・絵：佐野洋子 出版社：講談社

こんな有名な作品すら知らなかった私が、読み終えて、感動してその場から動けなくなった1冊目の作品です。今さら内容を紹介する必要はないと思いますが、ある人が「恋愛のバイブル」だと言っていました。

◆「パパのカノジョは」作：ジャニス・レヴィ 絵：クリス・モンロー 訳：MON 出版社：岩崎書店

題名からは想像できない内容です。先生として、親として子どもたちとどう接すべきかを伝えてくれる作品です。読み終わると、ちょっと背筋が伸びているかも。

◆「きょうはそらにまるいつき」作・絵：荒井良二 出版社：偕成社

私にとって、理想の絵本の形だと思っています。絵を補う言葉がちょっとだけ添えられています。絵本でしか伝えられない世界がそこには広がっています。

◆「きょうはマラクスのひーくネクネさんのいちにちー」文・絵：樋勝朋巳 出版社：福音館書店

銅版画家の作者の絵本デビュー作です。読み終わると全身の力が抜けています。疲れた時、この作品でリラックスしてください。

## 園の防災の悩みに向き合います

防災について何でもご相談ください

詳しくはこちらまで

☎0120-775-956

株式会社 ニシハタシステム



災害対策

業務改善





このたび、ゆたかなまナビ教職員MYページを全面リニューアルいたしますので、その概要をお知らせいたします。

公開日につきましては、9月9日（水）6時を予定しております。全ての教職員MYページが対象となりますのでよろしくお願いします。皆様に操作や設定をしていただくことは一切ありません。

なお、本稿で使用した画像は開発中のものであり、公開時には若干表記等が変わることがありますことを何卒ご了承ください。

新しい教職員MYページはページ構成が大きく変わりますので、固定メニューをもとに紹介いたします。

#### フッター固定メニュー

- ① ホーム（マイページTOP）
- ② タスク メニューを整理し、目的ページへのアクセスを改善、手続き忘れのないようタスクとしてアラートを表示するなど親切機能を追加しました。
- ③ 研修会を探す
- ④ MY研修
- ⑤ 分析



#### スライドインメニュー

- ・ アカウント情報
- ・ 会員情報の変更 リンクボタンなどはすべてスライドインメニューにまとめました。
- ・ 研修スタンプ
- ・ 免許情報
- ・ マニュアル
- ・ よくあるお問い合わせ
- ・ 機構について
- ・ 利用規約
- ・ プライバシーポリシー
- ・ リリースノート
- ・ 不具合の報告
- ・ ゆたかなまナビTOP
- ・ ログアウト

## ① ホーム 新しいMYページ



ゆたかなまナビ

スライドインメニュー

三

マイページ

すぐに対応いただきたい事項をタスクとして整理します。

タスク 2

三 未完了のタスクが9件あります

確認する

お知らせ

お知らせ

システムに関するお知らせ

2025/9/24 新機能をリリースしました。

2022/7/27 ゆたかなまナビの機能拡張に伴うお願い

あなたへのお知らせ

システム関係のお知らせと研修会関係のお知らせを分けて表示します。

2026/7/19 研修会の申込を受け付けました

2026/7/19 研修会の申込を受け付けました

2026/7/19 研修会の申込を受け付けました

すべて表示

参加予定の研修

7月15日(水)～16日(木)

MY研修（修了前の研修） 4

ゆたかなまナビサポート事務局開催

受講前・受講中の研修会をトップページに表示します。

8月8日(土)

ゆたかなまナビサポート事務局開催

8月8日(土)

ゆたかなまナビサポート事務局開催

すべて表示

MY研修（修了後の研修・時間数集計） 4

あなたの受講状況

今年度 累計

総合受講時間

46 時間

受講研修 8 件

修了研修 7 件

研修スタンプ発行対象の研修受講状況が反映されています。

今の受講状況をトップページに表示します。

マニュアル

マニュアル

？

ゆたかなまナビの使い方はこちらから確認いただけます。

フッター固定メニュー

ホーム

タスク

研修会を探す

MY研修

分析

## ② タスク



研修の修了にあたり、対応が必要な事項について表示されます。対応を済ませることにより表示されなくなります。

未完了タスク

タブを選択

すべて

支払い

レポート

アンケート

3月2日(月)

《令和8年度Ⅰ-12》労務上級2【講師：...】

《令和8年度Ⅰ-12》労務上級2【講師：...】

3月2日(月)

《令和8年度Ⅰ-12》労務上級2【講師：...】

《令和8年度Ⅰ-12》労務上級2【講師：...】

3月2日(月)

《令和8年度Ⅰ-10》これからの幼児教育への期待と課題【講師：...】

《令和8年度Ⅰ-10》これからの幼児教育への期待と課題を視聴してください

### 未完了タスク

上段のタブを切り替えると、未完了項目ごとの表示になります。タブは次の3項目です。

- ・ 支払い（未払い）
- ・ レポート（未提出）
- ・ アンケート（未提出）

例えばレポートの場合、

午前レポート

未提出

下記の質問に回答してください。

↓ 未提出ステータスのレポートを提出すると、

レポートを提出しました

レポートを提出しました

受付日時: 7月20日(月) 16:58

レポートは正常に受理されました。

ポップアップにより受理されたことを表示

レポートを確認する

↓ 合格した場合は、MY研修メニューに表示場所が変わります。（受理されないときはタスクに残ります。）

7月15日(水) 9:00 ~ 7月15日(水) 12:00

レポート一覧 提出内容はいつでも確認することができます。

午前レポート

提出期限: 2027年3月31日(水) 23:30

提出済み

## ③ 研修会を探す



研修会の検索条件を増やし、表示内容を変更しました。お気に入り登録することで受講計画が立てやすくなります。

キーワードを入力

検索

詳細検索

機構オンデマンド研修のお申込みはこちら

お気に入り登録した研修会を見る

検索結果の★をタップするとお気に入り登録できます。

現在募集中の全国の研修会

並び替え

開催日時 (降順)

ゆたかなまナビサポート事務局

☆

ここをタップするごとに  
お気に入り登録・解除ができます

申込期限まであと 10 日

開催日時: 8月18日(火)

申込受付期間:  
7月20日(月) 0:00 ~ 7月29日(水) 23:59

詳細を見る

ゆたかなまナビサポート事務局

☆

申込期限まであと 30 日

開催日時: 8月18日(火)

申込受付期間:  
7月18日(土) 0:00 ~ 8月18日(火) 23:59

詳細を見る

研修会を探す

分野別ボタンをご活用ください

### 機構オンデマンド研修

A分野

B分野

C分野

D分野

E分野

F分野

#### ④ MY研修



申込後の研修会はここに表示されるようになります。進捗状況のステータス表示を確認しながら、受講を進めてください。

### MY研修

#### 申込から修了判定までの研修

申込が完了し、研修スタンプが発行される等、修了処理がなされる前までの研修はこちら

#### 研修履歴

研修スタンプが発行される等の修了処理日以降の研修はこちら

#### 個人管理研修履歴

園内研修およびゆたかなまナビ以外で受講された研修を入力することができます。なお、処遇改善等加算申請に活用される場合には、都道府県により研修実施主体の認定をうけている団体である必要があります。

#### 申込から修了判定までの研修

申込が完了し、修了処理がなされる前までの研修会を表示します。受講前や受講中の研修会、受付用のQRコードなどもこちらに表示されます。



### ステータス

- お申し込み完了
- お支払いは完了しています
- 研修会に出席してください  
受付用のQRコードを表示
- レポートを提出してください  
(2件中0件完了)
- 研修スタンプは7月17日(金)に発行予定です
- 修了証は条件達成後に発行されます

ステータスでは、進捗状況を時系列で表示します。受講中の研修会に対してどの状況にあるのかを見やすくしました。

### 研修スタンプ

0 / 2 件発行済み

発行予定日: 7月17日(金)

研修スタンプの発行予定日がわかります。(主催する都道府県団体の設定がある場合に限り)

### 講義一覧 (2)

① 7月15日(水) 9:00 ~ 7月15日(水) 12:00

レポート一覧

午前レポート  
提出期限: 2027年3月31日(水) 23:30

未提出

レポートの「提出済み・未提出」や、動画の「視聴済み・未視聴」の表示を加えました。

#### 研修履歴

主催団体によって修了処理がなされて、研修スタンプが発行されている研修会を表示します。



### ステータス

- お申し込み完了
- 研修会に出席済み
- レポートはすべて提出済みです
- 研修スタンプを利用できます
- 修了証を利用できます  
修了証を印刷
- アンケートに回答してください  
アンケートの回答をお願いします

### 研修スタンプ

1 / 1 件発行済み

一覧を見る >

### 講義内容

2025年8月1日(金) 7:30 ~ 3月31日(火) 18:00

レポート一覧

研修レポート (NO.③)  
提出期限: 3月31日(火) 23:59

提出済み

#### 個人管理研修履歴

ゆたかなまナビ以外で受講した研修会、園内研修、免許状更新講習、免許法認定講習（上進講習）などを個人管理履歴として記録することができます。



#### 個人管理研修履歴 | 受講実績登録

園内研修およびゆたかなまナビ以外で受講された研修を入力することができます。

処遇改善等加算申請に活用される場合には、都道府県により研修実施主体の認定を受けている団体である必要があります。

処遇改善等加算申請時は対象要件にご留意ください。

### 研修会

必須 種別

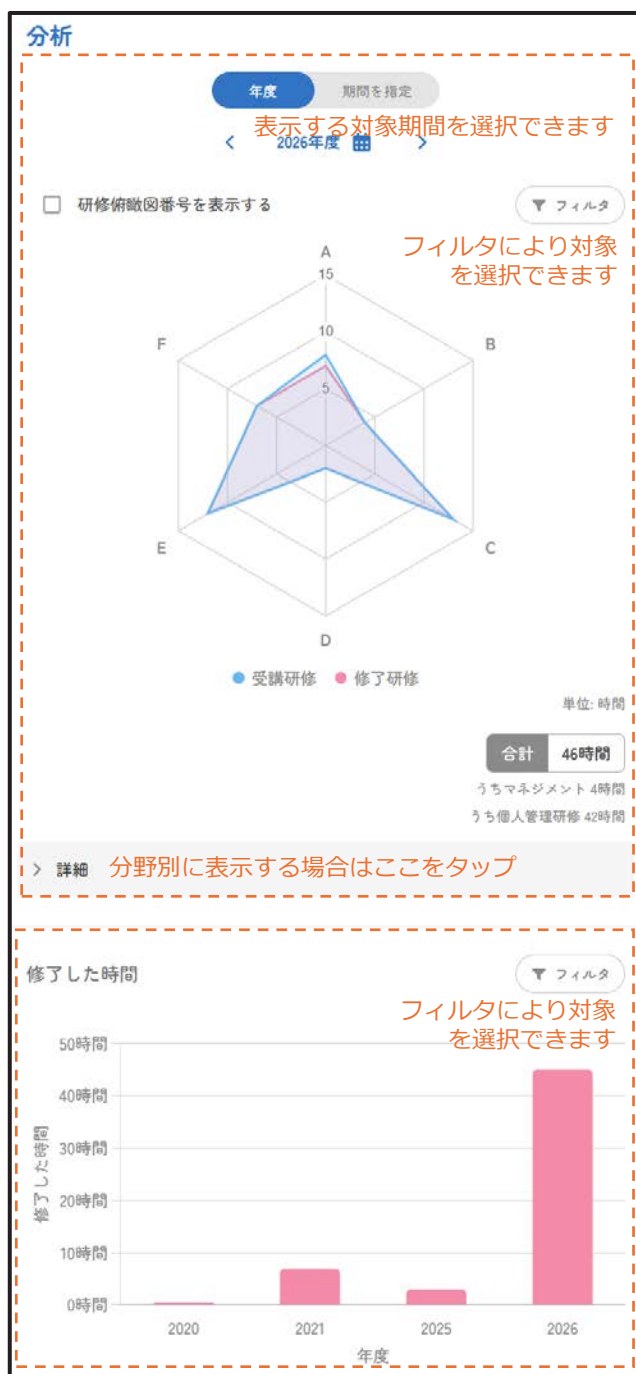
免許状更新講習

必須 研修名

## ⑤ 分析



今まで修了した研修会を研修俯瞰図番号ごとにレーダーチャートで表示します。今後の学習計画にお役立てください。



分野別に表示する場合はここをタップ

### B 子どもや同僚と共に育つ保育者

研修俯瞰図の説明がポップ

アップします。➡ ① この分野について

|               |           |
|---------------|-----------|
| 受講した研修 (修了済み) | 1件 (1件)   |
| 受講した時間 (修了済み) | 4時間 (4時間) |
| 修了率           | 100.0%    |

## 教職員向け操作マニュアル

今回のリニューアルでは、MYページの各画面の使い方を、画面ごとに説明したページを加えました。是非ご活用ください。

### 収容ページ一覧

- ログイン画面
- マイページ画面
- お知らせ画面
- お知らせ詳細画面
- 未完了タスク画面
- タスク詳細画面
- MY研修画面
- 申込から修了判定までの研修
- 研修履歴画面
- すべての研修履歴
- キャンセル済みのお申込み
- キャンセル待ちのお申込み
- 研修スタンプ一覧画面
- 個人管理研修履歴 | 受講実績一覧
- 個人管理研修履歴 | 入力途中の受講実績一覧
- 個人管理研修履歴 | 受講実績登録
- 受講実績の詳細
- 個人管理研修履歴 | 受講実績変更 画面
- お気に入り
- 分析
- 研修を探す | 研修申込の流れ
- 研修会を探す | 機構オンデマンド研修
- 研修会費のお支払い
- クレジットカード決済画面
- コンビニ決済画面
- 銀行振込
- お支払い完了
- システム移行の確認画面
- メニュー画面

ゆたかなまナビは、これからもキャリアアップしたい幼稚園教諭・保育教諭・保育士の皆さまを応援してまいります。